保育所の自己評価（令和６年度）

社会福祉法人若葉会　大宮みのり保育園

本園の保育・教育全般について総合的に評価しその結果を公表するとともに、その評価結果を踏まえ保育の内容などの、専門性の向上や保育実践の改善に努めていきます。

評価の基準について

A+：大変良い　A−：良い　　B：普通　　C：一部改善を要する

項目	内　　容	評価	特記事項
保育の理念について	(1)保育理念や基本方針が明文化され、保護者に周知している。	A+	・方針や計画を周知し、各年齢にあった指導計画を作成し保育を実施した。保育者の振り返りを十分に行い、保育の質の向上に努めた。
	(2)保育課程の作成には職員が参加し、地域の実情や保護者の意向などを反映している。	A-	
	(3)保育目標は、前年度の反省を生かし全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。	A+	
	(4)子どもの人権に十分配慮すると共に、子ども一人ひとりの人格を尊重した保育についての共通理解を図っている。	A-	
健康・安全・環境	(1)健康管理は、感染症などに関するマニュアルを作成し、職員に周知している。	A+	・様々な感染症の早期の対応に努め、感染症予防に留意した。 ・交通安全指導では視覚教材のほか、実際に歩道を歩き警察署見学を実施するなど、安全意識の向上に努めた。 ・BCP 業務継続計画の内部研修や訓練を通し、計画の周知や把握に努めた。 ・毎月の避難訓練では、職員の消火訓練を実施し、また心肺蘇生研修や煙避難体験など子どもたちと実践訓練の経験を積み重ねていった。 ・子どもたちが主体的に製作活動を楽しみ、四季の移り変わりを感じられるよう環境を整えていきたい。
	(2)地震・風水害等災害発生時に対するマニュアルがあり、子どもの安全確保の取り組みをしている。	A+	
	(3) 室内外の衛生面・安全面に配慮し、安全点検を実施すると共に、事故の未然防止策の検討をしている。	A+	
	(5)安全管理及び乳幼児突然死症候群(SIDS)を予防するマニュアルがあり、職員に周知され活用している。	A+	
	(6)保護者への感染症予防策及び感染時の対応について周知している。	A-	
	(7)内科・歯科検診等の結果について保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	A+	
	(8)乳幼児に適した食生活が展開されるよう、環境設定や献立の作成・調理が工夫され、食事についての見直しや改善をしている。	A+	
	(9)アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示のもとで、適切な対応を行っている。	A+	
	(10)個別対応の食物アレルギー除去食の誤食がないように、専用食器やプレートを使用し、調理担当者や保育士が確認している。	A+	
	(11)園内の清掃がなされ、清潔で子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A+	
	(12)調理施設やトイレ・手洗い等の衛生管理のマニュアル及びチェックリストがあり、常に清潔に保たれ、食中毒の発生の防止に努めている。	A+	
	(13)園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている。	A-	

項目	内　　容	評価	特記事項
保育内容	(1)子ども一人ひとりを受容して、さらに理解を深めながら状況に応じて適切な援助や対応をしている。	A-	・園全体での連携や情報共有を密にし、一人ひとりの子供たちの成長や発達見守り、適切な援助を心がけた。 ・遊びを通して集団でのルールの大切さや、相手を思いやる心など、非認知能力を育めるように努力した。 ・離乳食提供では食品調査票を基に家庭での食事の様子など情報共有を密にし、安全な食事の提供を園全体で取り組んだ。 ・日々の保育の振り返りを行い、改善に向けより良い保育が提供できるように努力した。 ・小学校接続研修に積極的に参加し、小学校との連携を深めた。
	(2)基本的な生活習慣の形成や自立に関しては、子どもの状況に応じて対応している。	A+	
	(3)子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が、整備されている。	A+	
	(4)生活体験の中で、身近な自然や社会とのかかわりを通して、命の大切さや季節感などの豊かな感性を育むよう配慮している。	A+	
	(5)身体を使った様々な表現遊びや、様々な素材を使って表現活動が体験できるよう配慮している。	A+	
	(6)遊びや生活を通して社会性や自主性を育て、人間関係が育つようにしている。	A-	
	(7)乳児保育のための衛生的で安心な環境を整備し、一人ひとりの子どもの発育や状況に合わせて、睡眠やあそび、授乳・離乳食などを配慮している。	A+	
	(8)長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮している。	A+	
	(9)障がい児保育のための環境を整備し、保護者の理解の下で関係機関や医療機関との連携を図り、必要に応じて助言指導を受けている。	A+	
	(10)保育指導計画には、各年齢の保育において養護と教育の一体的展開がされるような、保育の内容や方法が記載されている。	A+	
	(11)定期的に保育の計画・実施・評価・改善をしている。	A+	
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や保護者・小学校とのかかわりに配慮している。	A+	
入所児童の育児支援	(1)送迎時の対話や連絡帳への記載など日常的な情報交換に加えて、別に機会を設けて相談に応じたり個別に面談を行っている。	A+	・定期的な参観を実施し、日々の保育の様子や保育内容への理解を得られるように参観の機会を大切にした。 ・就学前個別面談の他、育児相談等必要に応じて面談の機会を設け支援につなげていった。 ・公開情報等は、(いつ、どこに、何が)が分かりやすいように提供していく。
	(2)家庭の情報や交換内容が必要に応じて記録され、関係職員に周知されている。	A+	
	(3)保護者会・懇談会などを定期的に開催し、保護者との共通理解を得るための機会を設けている。	A+	
	(4)保育者は、日常において保護者や子どもの様子を観察し、虐待の予防や早期発見に努めている。	A+	
	(5)保育内容や行事などの園生活に関する情報を提供している。	A-	

地域の育児支援	(1)育児相談や地域の親子との交流や子育て支援を実施している。	A-	・見学相談や一時保育の対応など、必要な支援や情報提供を行った。 ・地域企業やボランティアと連携し保育活動支援の充実を図っている。
	(2)子育て支援に関するパンフレットなどで、積極的に情報の提供をしている。	A-	
	(3)関係機関や地域ボランティアと協力して、事業を計画実施している。	A+	
	(4)地域の子育てニーズを把握して、情報提供や支援を実施している。	A+	
項目	内　　容	評価	特記事項
地域との連携	(1)子どもと地域との交流を広げるため、施設を公開したり行事の公開や参加への取り組みをしている。	B	・高齢者施設には、園児の製作作品を寄贈し、交流を図った。 ・地域資源を活用し、スーパーへ買い物に行ったり警察署見学を実施したりと、交流や学へと繋げていった。
	(2)保護者が、就学に向けての子どもの生活についての見通しを持てるように配慮している。	A+	
	(3)育児相談などに際して、専門機関との相談や連携ができている。	A+	
	(4)ボランティア・体験学習などを積極的に受け入れている。	A+	
	(5)高齢者施設などの人々との交流の機会を設けている。	A-	
	(6)他の保育園と交流する機会を設けている。	B	
人材育成	(1)職員の研修について計画的に適切な研修機会を確保している。	A+	・園内研修や実地研修などでは、専門の方からの指導を受け保育の質の向上に努めた。 ・保育実習生を積極的に受け入れ、保育士の育成に努めた。
	(2)計画的に園内研修を実施し、資質の向上と共通理解を図っている。	A+	
	(3)定期的な自己評価に取り組み、保育の改善と組織的な課題を明確にしている。	A+	
	(4)保育実習生の受け入れと育成についての体制を整え、積極的な取り組みをしている。	A+	
組織運営	(1)保育の質の向上や改善のための取り組みを、計画的に実施している。	A+	・保育への共通理解や目標を明らかにし、園内行事や保育実施について、園全体での取り組みに努めた。 PDCA サイクルを基に、今後も課題の早期解決を図り、保護者からの相談や意見を大切に受け止める。
	(2)施設長は、自らの役割と責任を職員に表明し、保育の質の向上に対する取り組みを指導している。	A+	
	(3)運営規程の課題を把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証、見直しをしている。	A+	
	(4)保護者からの意見や提案に対して、迅速に対応している。	A+	
	(5)苦情解決の仕組みが確立して、保護者に周知されている。	A+	
	(6)個人情報に関する守秘義務について全職員に周知し、守られている。	A+	